

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会

法人だより

福祉情報を発信します

風の子保育園・あすなろの家・ともの家

No.11 平成29年12月20日

静岡市清水区山原 871-2  
Tel 054-363-2046

【風の子・あすなろ・とち】3施設を取り巻く関係者の交流をめざす

# 初めての地域福祉懇談会を開催！

平成29年12月16日（土） 於・あすなろの家地域交流室

役員・評議員・施設職員・利用者をはじめ  
支援団体・地域関係者34名が参加



挨拶する杉井理事長

## 『地域福祉懇談会』への出席のお願い(抜粋)

社会福祉法人清水あすなろ福祉会理事長 杉井則夫

わたしどもは認可保育園「風の子保育園」・老人介護施設「あすなろの家」・障がい者施設「ともの家」の三施設を運営しております。社会福祉事業の中でも分野の異なる事業を運営しているため、施設管理者間での交流はあっても、それぞれの施設利用者やそこのご家族、職員、施設を支援くださる皆様方、またそれぞれの地域で施設を見守ってくださる皆様方との相互交流はこれまであまり行われてきませんでした。

このたび、三施設を取り巻く皆様方との交流を通じて相互理解を深め、それぞれが保有する情報・ご意見・要望などを共有することによって、より一層の地域との密着度を深めた施設運営を心掛けたく、表記の懇談会を企画いたしました。

# 地域福祉懇談会：地域の福祉活動を交流

1面で紹介の通り、12月16日、あすなるの家において初めての地域福祉懇談会を開催し、役員・評議員・施設職員・利用者・施設所在地の福祉関係者34名が一同に会しました。

冒頭、主催者を代表して司会をつとめた

杉井理事長が懇談会の趣旨を説明、法人を紹介し、あすなる3施設より日常の業務・活動を報告した後、出席者が福祉活動の経験、法人への要望、あすなるの施設利用の感想などが発表されました。

なお、ともの家家族会さんより、本会議出席者全員にとものクッキー詰め合わせをいただきました。



## 地域の福祉関係者の切なる声

特に地域の福祉関係者からは地域の福祉推進の経験や、そこでの限界・問題、それを乗り越えるための法人への要望、利用者への支援をふくむ地域福祉における法人施設が果たしている役割やさらに地域福祉活動を支援したい思いなどが語られました。

今後は、語られた内容を整理してこれからの施設・法人運営や地域への支援活動のあり方に役立てることを目指しますが、ここでご発言の一部を簡単に報告します。

### 支援を必要とする子どもの居場所を！

船越で、支援を必要とする子どもの自立のために、部屋を借りて安心できる生活の場をつくることを計画しています。そこではガスも止められ風呂に入れられない子どももいて、どこか風呂を貸してもらえないか。防災上の対策で、障がい者がどこに住んでいるのかわからないので困っている。

### 高齢化が進む公営団地での取り組み

高齢化が進む公営団地で食事会や困りごと相談会を開催し、さらに買物難民となっている方のために近くのスーパーに訪問販売をお願いしている。山原のS型ディサービスの運

営では、自治会の協力でボランティアを広げることで、口コミも広がり、利用者も増えています。また、あすなるの協力を得て、安心して楽しい取り組みとなっています。



### 障がいを持つ子の親として

ともの家保護者からは、昔では考えられないほどダウン症でも長生きができ、喜ぶと同時に、老が障がい者を看る老障介護の深刻さが述べられ、法人として支援を考えてほしいとの切実な願いが語られました。

風の子保育園の保護者、ともの家の家族からは、障がいを持つ子供を育てるうえで、風の子保育園、ともの家が支えになり、本当に助かっている。

### 障がいをもつ人を「仲間」として

特に、ともの家では、声をかけることひとつでも真剣に考えてくれていることを肌を感じ、さらに、施設に対しお礼を言う関係ではなく対等でいいんだよと言ってくれ、利用者を「仲間」とよんでくれることに感謝が述べられました。



みんなの声で 保育をかえよう!

保育・子育て施策の拡充を求める署名運動  
 一保育料値上げ反対、保育士の給与改善、職員増など一  
**保護者の皆さんと学習会**



毎年どうしても多くの方が参加してくれるのか、工夫と知恵を絞っていますが、参加者が増えていないのが現状です。今年度、参加者41人でした。



ることの意味や、声をあげなければ変わらないということ)も理解した保護者の方が、その後“署名もう少しとれますから”と事務室にとりにきてくれる姿がみられました。

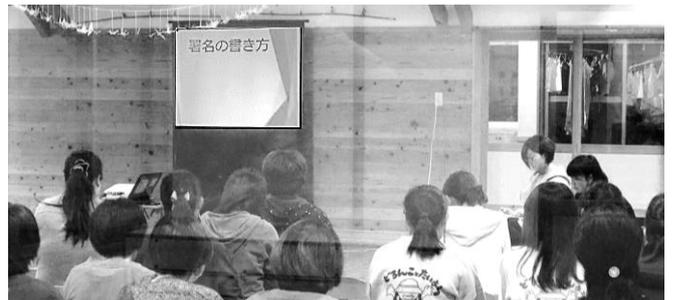
**保護者の切実な声を大事に**

今年度の学習会は署名項目別に保護者の声をひろいました。兄弟同時入園できなかつた声、育児休業中退園した声、2人目は育児休業をとれなかつた話、近隣地域も含め放課後児童クラブの実態、署名によって変わってきたこと(成果)等、どの話にも大きく頷いている姿が見られました。

今回の学習会をとおして、わかりやすい劇や説明も大事ですが、保護者の切実な一声に力を感じた学習会でした。

**署名用紙を追加される保護者も**

署名をとる必要性(小さな力を積みかさね



あすなろの家

**コンビニで福祉相談処をオープン**  
 冷やかし歓迎!...気軽に相談・雑談できる場に!

ケアマネジャーに求められる役割の一つに地域支援があります。あすなろの家では、和茶屋での出張相談&ミニ講演会をはじめ、S型デイスタッフ向けミニ講演会等地域の皆様のため、様々な取り組みを行なってきました。



ファミリーマート下野店

このたび11月から、毎月第2・4水曜日の午前中に『ファミリーマート下野店さん』で福祉相談処をオープンさせていただきました。

ファミリーマートさんのご厚意で実現したもので、気軽に利用するコンビニで気軽に相談、雑談できる場所を作ることによって、地域の高齢者の支えとなればと思っています。冷やかし歓迎!皆さんぜひお立ち寄りください!



# 保育「無償化」を考える…「安心」?

「ホント?」

「ちーがーうーだーろーうー」

国会解散に際し、首相は「すべての子どもたちの幼稚園や保育園の費用を無償化する」と表明しました。多額な保育料を払っている家庭にとって「夢」みたいな話であるが、「ホント?」という喜びの声とともに、「ちーがーうーだーろーうー」という声が聞こえてきそうだ。

「保育園落ちた、日本死ね!」の言葉をきっかけに、広く明るみに出たお母さんたちの苦しみ、切実な悩み。求めたのは、預け先の確保と、保育の質を守ることではなかったか。

今でも聞くのは、何月に出産するのが一番いいか? 認可保育園がダメなら他にあるか? 親はどこまで頼れるか?・・・不安はつきない。



## 「保育園落ちた」お母さんが 増えるんじゃない?!...

「無償化」が実現したら、潜在的待機者と言われてきたように、保育所に預けることを希望する家庭も増え、待機児童も激増すると予想されます。そして「保育園落ちた」お母さんが激増するのでは?。

国は2020年までに32万人分の保育の受け皿を進めるといいますが、かつて「待機児童ゼロ」の目標を延ばし延ばしされ、未だ実現できないばかりか、増えているのが現実です。

## 待機児童の受け皿に「認可外」保育? 「企業主導型保育」「自治体単独保育施設」

「無償化」で増加するであろう入所希望に、財源不足、保育士不足のなかで、国は認

可外の一つである

「企業主導型保育」や「自治体単独保育施設」の促進を盛り込んでいます。さらに、基準の低い小規模保育の対象年齢を拡大しようとしています。



## 子育て支援に1.1兆円

「無償化」を柱とした「人づくり政策」の設計が進められ、11/24付日経によれば、0～2歳の保育所、3～5歳の保育所・幼稚園の無償化に8000億円、保育所の受け皿整備に3000億円となる見通しが報道されています。これに大学などの高等教育への支援、保育士や介護士の処遇改善などに1000億円をくわえた「人づくり政策」を消費税増税の一部2兆円を活用するという。

(以下H29.11.24日経新聞より)

子育て支援項目	必要資金
保育所・幼稚園の無償化	8000億円
保育所の受け皿整備	3000億円
大学など高等教育	7000億円
私立高校	650億円
介護・保育の処遇改善	1千数百億円

## 「保育無償化」は、誰のためになる?

「無償化」について、国は、0～2歳は低所得世帯に限って、3～5歳については全ての世帯で保育料をタダにするという。

しかし、保育料の負担は世帯収入が高いほど大きく、生活保護世帯はゼロ、年収260万未満の住民税非課税世帯は年72000円。

高額所得世帯の負担減は100万円以上だが、生活保護世帯では今回の恩恵はゼロ。

更に、既に保育料を補助している自治体が多く、無償化の恩恵の4～5割は自治体が受けるとも言われています。